

「化石から見る桐生の歴史と群馬の化石」展

【開催期間】8月25日(木)から10月9日まで(休館日一月火曜日)

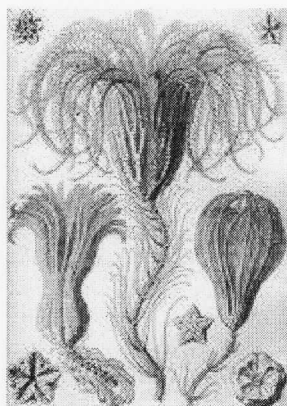
【会場】桐生歴史文化資料館(本町二丁目矢野園隣り TEL46-7246)

※岩宿遺跡から石器が発見され、日本の石器時代の存在が証明されました。

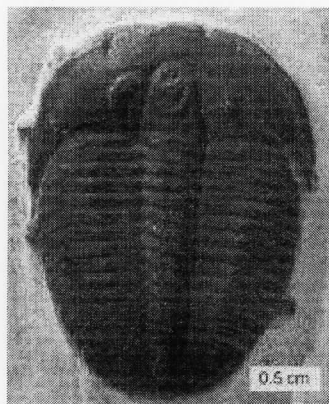
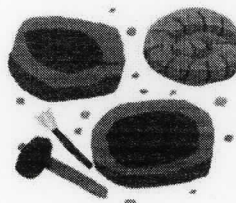
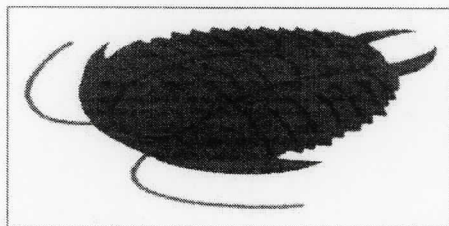
化石はそれよりずっと古い時代の地球の歴史を物語っています。

桐生でよく採集される化石

桐生で化石採集教室もおこなわれています



ウミユリ



三葉虫

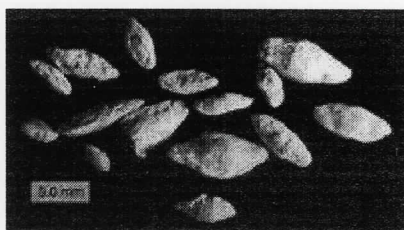
「梅田には音、海があったのですか？」

梅田の化石

梅田の高仁田沢岩層を、600メートルほど登ると少し平らになったところがあり、石灰岩のかたまりがたくさん落ちています。左上を見ると石灰岩のかけがあります。この石灰岩の中に、古生代ペルム紀(2億6千万年前)の化石を探ることができます。かけの下は危ないので近づかないでください。下に落ちていた石から探しましょう。サンゴ・ワニ・ウミユリ・三葉虫(まれにしか採れない)・腕足類・コケムシ・フズリナなどの動物の化石を探ることができます。これらの動物は、温かい浅い海に住んでいました。その死がいかが積み重なり、石灰岩となりました。



四放サンゴの化石
(梅田高仁田沢岩層)
群馬古生物研究会提供



フズリナ

今回の化石展は石原克彦先生(群馬古生物研究会会長、境野町在住)が、会員の方と長年にわたり採集した化石を中心に展示しております。